

うおーみんぐ

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

No.51 **新** **春**



contents

特集

2・3 京都再エネコンサル制度
&
京都再エネポータルサイト } スタート

4・5 夏休み省エネチャレンジ2016報告

6 クールチョイスを合言葉に進めよう
「賢い選択」で賢い温暖化対策

7 第7期
地球温暖化防止活動推進員府内各地で活躍中！part12
学生時代に出会った「火のある暮らし」を多くの人に伝えたい、
お母さんになってさらに広げたい「木に囲まれた暮らし」

8 活動レポート
京都環境フェスティバル2016に出展しました
上鳥羽ハッピークリスマス集いで省エネ相談所を実施しました



京都府と連携して再エネの普及啓発をすすめています（関連記事P.2,3）



夏休み省エネチャレンジの表彰式集合写真（関連記事P.4,5）



環境フェスティバルで節水シャワーヘッド比較実験を実施（関連記事P.8）



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

京都再エネコンサルジェ認証制度 & 京都再エネポータルサイト

スタート!

京都府は、家庭向けの再生可能エネルギーの普及を目指すため、「京都再エネコンサルジェ認証制度」を始めました。また、再エネと再エネコンサルジェの情報をお届けするため「京都再エネポータルサイト」を立ち上げました。今回は、その内容をご紹介します。

脱炭素社会づくりと 家庭での再生可能エネルギー利用

日本はパリ協定を締結し、世界とともに脱炭素社会（CO₂などの温室効果ガス排出量実質0の社会）への道を正式に歩みだしました。脱炭素社会を実現するためには、省エネはもちろんのこと、再生可能エネルギーの普及拡大が求められています。そしてそれは、公共施設や事業所だけでなく、一般家庭も同様です。

家庭に再エネ設備を導入すると、図の試算のように、家庭からCO₂排出量を大幅に減らすことが可能です。また、長い目で見れば、お金の面でも得をすることが多々あります。

再エネは、運用時のCO₂排出が0で、資源に限りがなく、安心安全なエネルギーです。しかも、化



(図) うちエコ診断にみる再生可能エネルギー導入によるCO₂減少（太陽光発電を設置した場合）

石燃料のように輸入しなくてもよいため、地域外に流出する費用を地域内で循環させることができます。産油国に払っていたお金を地域の業者さんに払うことで、地域活性化にもなるのです。

一般家庭で導入可能な再エネ設備

家庭での再エネ利用というと、真っ先に思い浮かぶのは太陽光発電です。でも、それだけが再エネ利用設備ではありません。家のエネルギー消費の半分は「熱」のためのもので（うおーみんぐ前号参照）、太陽熱利用設備や木質バイオマスの利用も非常に効果的です。



京都の家庭向け再生可能エネルギーの普及状況

京都府における住宅用太陽光発電の導入件数は、35,922件（2016年8月末）となっており、戸建て住宅総数64万戸（平成25年住宅・土地統計調査より）当たりの導入率は、約5.6%（全国38位）です。また、太陽熱利用設備（太陽熱温水器＋ソーラーシステム）は現在27,000台（平成25年

住宅・土地統計調査より）。薪ストーブ・ペレットストーブは累積3,500台※ほどです。

京都府は府内の戸建住宅における再生可能エネルギー導入量の拡大（2020年度までに10万戸に導入）を目指しています。

※情報提供 松田直子氏

京都再エネコンシェルジュ認証制度、スタート！

そこで京都府では、家庭向け再生可能エネルギーの普及を後押しするため、平成28年12月より京都再エネコンシェルジュ認証制度をスタートしました。この制度は、主として家庭向け再生可能エネルギー

を勧めるさまざまな事業者の人たち（例えば、建築士、工務店、電器店など）を対象として、研修・認証を京都府が行い、府民の方が安心安全に再エネを導入できるようになることを目的としています。

京都再エネポータルサイト、スタート！

また、府は京都における再生可能エネルギーの情報を発信するため、京都再エネコンシェルジュの情報や京都の設置事例などを紹介する京都再エネポータルサイトを開設しました。当センターも、サイト作りをお手伝いしています。ぜひ御覧ください。

あわせて、フェイスブックページも開設しました。フェイスブックアカウントをお持ちの方は、ぜひ「いいね！」をお願いします。



京都再エネポータルサイト

<https://www.kyoto-saiene.net>



Facebook 京都再エネポータル

<https://www.facebook.com/kyotosaiene/>



ポータルサイトのホーム画面



ポータルサイト内Q&Aページ

今後は、京都再エネコンシェルジュが増え、府民が再生可能エネルギーを導入する際に「京都再エネコンシェルジュがいるお店」を選ぶようになり、地球環境を守ると同時に地域経済の活性化が行われていくことが期待されます。みなさんの

周りで京都再エネコンシェルジュになってほしいという事業者の方には当制度をおすすめください。また、再生可能エネルギーを導入する際には、京都再エネコンシェルジュのいるお店をご利用ください。

夏休み省エネチャレンジ 2016 報告



当センターでは、2016年度も京都府からの委託を受けて「夏休み省エネチャレンジ」を実施しました。この事業は、小学生とその家族が夏休みの1週間省エネに取り組むというものです。

2003年度から始まり、14回目の今年度は参加世帯数が過去最高の19,806世帯、学校参加数は145校となりました。これは同様の事業を行っている京都市立の小学校を除けば、京都府内の半分以上の小学校が参加していることとなります。その内5年以上継続して参加している学校は82校あり、参加者の感想にも「毎年やっているのが簡単でした」「普段から省エネしています」という声が多く見られます。この取組みが省エネ行動のきっかけだけでなく、家庭での省エネ行動の定着につながっているのではないかと考えられます。

保護者からは「家族で集まることが増えた」「エコに興味がないと思っていた息子が妹や弟に積極的に声かけしていたので意外な一面を見られておもしろかった」などの感想もいただいております。ゲーム感覚で楽しみながら取り組んでいる家庭も多いようです。

また、参加者全員の各取組みの実施率(右グラフ)を見ると「テレビの時間を決めること」が一番難しいようです。(「もっとチャレンジ」は、これら以外の一歩進んだ取組みのことなので除く。)

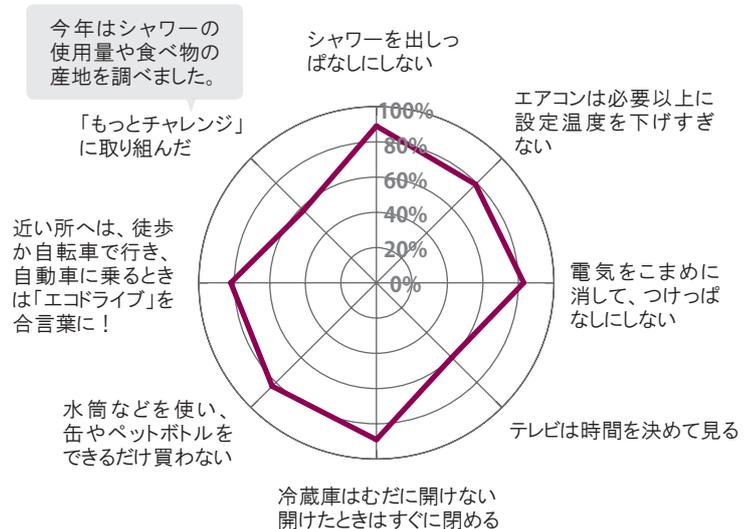
● 夏休み省エネチャレンジ 参加小学校と参加世帯数の推移



| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 参加世帯数 | 19,806世帯 |
| CO₂削減量 | 71トン |
| 学校参加数 | 145校 (内5年以上継続82校) |
| 学校参加率 | 宇治田原町、大山崎町、久御山町、 城陽市、長岡京市、宮津市 |

広報にご協力いただいた皆様、ありがとうございました

● 各取組みの実施率 (家族全員が取り組めた日の割合)



2016.12.11

「学校参加キャンペーン」表彰式を開催しました

夏休み省エネチャレンジの実施にあたって、優秀な結果をおさめた小学校を表彰する「学校参加キャンペーン」も実施。12月11日に京都環境フェスティバル2016のステージイベントで表彰式を行い、京都府知事からの賞状が授与されました。また特賞として企業から環境学習教材が各部門の優秀校へ贈呈されました。

優秀校



[二酸化炭素削減量部門第1位]

城陽市立久世小学校
削減量：約2300kg

[平均得点部門第1位]

宇治市立笠取第二小学校
平均得点：約94点

[参加児童率部門] (参加率100%校)

綾部市立吉美小学校
綾部市立東綾小学校
綾部市立西八田小学校
井手町立井手小学校
宇治市立笠取小学校
宇治市立笠取第二小学校
亀岡市立本梅小学校
木津川市立城山台小学校
京都市立花背小学校
相楽東部広域連立立笠置小学校
長岡京市立神足小学校
福知山市立中六人部小学校
福知山市立美河小学校
以上13校

特賞受賞校



● エスペック賞
ゴーヤ先生の授業と
みどりのカーテン
亀岡市立本梅小学校
(参加児童率部門)



● 大阪ガス賞
燃料電池実験セット
宇治市立笠取第二小学校
(平均得点部門)



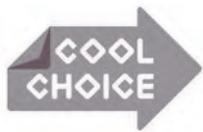
● 京セラ賞
太陽光発電体験キット
城陽市立久世小学校
(二酸化炭素削減量部門)



● ケニス賞
手回し発電機10個セット
福知山市立美河小学校
(参加児童率部門)



● ホリモク賞
京都府産ヒノキ製
おんだんかぼうし
どうぶつしょうぎ
10個セット
京都市立花背小学校
(参加児童率部門)



未来の
ために、
いま選ぼう。

クールチョイスを合言葉に進めよう 「賢い選択」で賢い温暖化対策

COOL CHOICEをご存知でしょうか。

これは、2030年まで続く温暖化対策の国民運動の旗印。今後、この旗印を掲げて様々な温暖化対策が行われていくことになります。

ご存知の通り、国の温暖化対策計画では、民生家庭部門で2030年までに約40%も削減することになります。これを「がまんの省エネ」だけで実現しようとする、ヒートショックや熱中症などの健康被害が引き起こされる可能性がありますので、おすすめできません。

しかし、「賢く選ぶ」という対策ならば、むしろ快適性をアップし光熱費を削減しながら大きな対策を実施することが可能ですし、そうしたサービスや商品を開発・販売する業者を応援することにもなります。つまり、産油国に払っていたお金を国内業者に支払うことになり、国内経済の活性化にもつながるのです。

温暖化防止につながる「行動」「財」「サービス」を賢く選択し、未来志向の対策を進めていきましょう。

● 詳しくはこちら

クールチョイス

検索

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

COOL CHOICEの例

日々できる選択

近場・旬の食材を選ぶ

例 舞鶴産の魚はカナダ産の魚に比べ輸送中に出るCO₂を90%削減

使う機器を選ぶ

例 灯油暖房ではなくエアコン暖房を選ぶとCO₂を35%削減

時々できる選択

身近な省エネ製品を選ぶ

例 白熱電球からLED電球に切り替えると電力消費量80%削減

例 節水シャワーヘッドに切り替えるとシャワーのお湯を30%削減

エネルギー源を選ぶ

例 電力会社やガス会社を、温暖化対策に積極的なところに変えれば、それだけでCO₂排出減に

買い替えの時にできる選択

車、エアコン、冷蔵庫などの買い替えの時には省エネ型のものを選ぶ

例 10年前の標準的な冷蔵庫が壊れた時に省エネ型に買い換えると電力1/3に削減

一生に一度の大きな選択

CO₂排出実質0の家にする

例 しっかり断熱された熱が逃げない家にする。夏は日射を入れず、冬は日射を取り込む家にする。

例 太陽熱温水器、太陽光発電、薪ストーブなど、自然のエネルギー利用機器を活用する家にする。



学生時代に出会った「火のある暮らし」を多くの人に伝えたい、お母さんになってさらに広げたい「木に囲まれた暮らし」

松田直子さん
(京都市)



第5期から京都府地球温暖化防止活動推進員として活躍している松田直子さんは、京都市内の町屋を拠点に、木質バイオマス利用を広げる活動に日々奮闘しています。今回は、松田さんの活動について紹介します。

木質バイオマスエネルギーの利用を広めたい

松田さんは大学生の時、木質バイオマス利用をテーマに卒業論文を書きました。「薪やペレットストーブが北欧では利用されているのに、日本での利用はあまりない。森の保全活動している人たちはたくさんいるけど、バイオマスをテーマに活動している人も日本には少ない。」それなら「私が木質バイオマスを広げよう」。松田さんは森林関係の活動で知り合った仲間たちとともに、薪やペレットストーブの普及に焦点を当て活動を始めました。今では、木質バイオマスやペレットストーブのことなど、松田さんに相談や講演依頼が全国からあり、木質バイオマスのスペシャリストとして活躍しています。今年から始まった京都再エネコンシェルジュ認証制度の立ち上げにも関わってくださっています。

ペレットストーブの利用を京都の町家で発信

京都の町の真ん中で木質バイオマス利用を進めたいと考えた松田さんは、10年前に会社を立ち上げ、6年前から京都市中京区の町屋で「京都ペレット町家ヒノコ」(以下ヒノコ)を始めました。ヒノコでは、冬にはペレットストーブの火に直接あたりながら、火のある暮らしが体感できます。また、2階では七輪でのお茶会ができるように道具も貸し出します。その他、ヒノコの室内装飾や家具、食器なども木でできているものばかり。ヒノコでは、木に囲まれた暮らしが体感できるので、活かした体験学習の場にもなっています。

林業女子の活動を支援

松田さんは、若い世代の担い手支援にも関わっています。たとえば、大学生を中心とした林業に関心のある女性達による「林業女子会@京都」の定例会議やイベントの場所として、ヒノコを提供しているそうです。

その他、学校での体験学習や起業支援をしたり、イ

ンターン生や学生と連携して京野菜カフェを開いたりしています。

火と木のある暮らし=低炭素で豊かな暮らしを！

松田さんは、「これまでの活動を通じて、日本の木質バイオマス利用の優れた点も見つけたので、その良さを伝えたい」と思い、「七輪について、そして、菊炭に見られるような日本の高度な炭焼き技術についてもぜひ世界に発信していきたい。」と今後の活動について語ります。

そして、今年の夏、第一子を出産されたことで、「子どものために木の製品を出来るだけ使いたいと思っている。しかし、木製の積み木など値段が高くてなかなか手が出ない。そこで、子ども達が気軽に使える木の品物がもっと増えるように、啓発も含めて活動していきたい。」それに、「脱プラスチック生活を目指すことは化石燃料の利用を減らし、温暖化防止にも繋がる」と、熱く語る松田さん。これからは、「火のある暮らし」とともに「木に囲まれた暮らし」を提案していきたいと、松田さんは今後の活動にも意欲的です。



松田さんが運営するヒノコ(京都市中京区)



木質バイオマス普及のためのセミナーを開催

report
1

2016/12/10,11

京都環境フェスティバル2016に出展しました

in京都パルスプラザ



今回は「給湯の省エネ」をテーマにコーナーを設置しました。お湯を作るときには多くのエネルギーが必要です。無駄なお湯を使わない「^{もつゆ}節湯」が省エネに繋がることをアピールしました。

節水シャワーヘッドの効果を実感してもらうための比較実験や、エコタイプのシングルレバー混合水栓があることを実物を使って紹介。クイズパネルなどの展示も行いました。他に、新しい国民運動COOL CHOICEについて説明・賛同を集めました。

また、省エネ普及ネット・京都と連携して「家庭の省エネ相談所」を実施。2日間で245名もの方にご参加いただきました。

(写真) 上：シャワーヘッド実演 下：省エネ相談所

report
2

2016/12/17

上鳥羽ハッピークリスマスの集いで省エネ相談所を実施しました

in上鳥羽北部いきいき市民活動センター



おひさま発電所のある上鳥羽北部いきいき市民活動センターでは、エコを意識したイベントや活動をされています。子どもから大人まで、地元の方が楽しめるクリスマスイベントにて、省エネ相談所を開催させていただきました。時間を分けて「大人向け省エネ相談」「子ども向け省エネ相談」を行い、合計31名の方にご参加いただきました。地元の方が集まる和気あいあいとしたあたたかいイベントの中で、省エネをネタに楽しく話がはずんだ素敵なひとときでした。

(写真) 上：おひさま発電の表示板 下：省エネ相談所の様子

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成 29 年新春号 平成 29 年 1 月発行 (年 4 回発行))

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長：郡嶋 孝

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

TEL：075-803-1128 FAX：075-803-1130

URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp

Facebook：https://www.facebook.com/kcfca

編集：木原浩貴 川手光春 西澤浩美 浅井薫 三枝剛 河田理恵子
根木よしみ 根岸哲生

法人の活動を支援くださる会員を募集しています！

年会費 正会員 (個人)：2,000 円 正会員 (団体)：3,000 円

準会員 (個人)：2,000 円 準会員 (団体)：3,000 円

賛助会員：10,000 円

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率 100%の再生紙に、植物油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

